

老年薬学ワークショップ 研修会



今回のテーマ
がん

2025 年

1月26日 日 **9:00-12:00**

(オリエンテーション 8:40開始)

**がん～高齢者へのがん薬物療法における
副作用とADLへの影響について考える～**

(コード: 11-T)

併存疾患やポリファーマシー、フレイルなどすでに多くの問題を抱えている高齢者にとって、がん治療は負担も大きく、安全で質の高い治療を実施・継続することは容易ではありません。そのため病院や地域の医師・看護師だけでなく、管理栄養士、ソーシャルワーカーなど様々な職種が高齢がん患者やその家族の治療や生活をサポートしています。チーム医療の一員として薬剤師の活躍も期待されており、診療報酬でも評価がされています。しかし実際には、積極的に医師に処方提案をしたり、多職種に情報提供することに躊躇してしまうこともあるのではないのでしょうか。本ワークショップでは、がんの基本的な知識を学び、治療の全体像をふまえつつ、高齢者の特徴に配慮したより良い薬学的管理が実践できることを目標としています。今回は、がん薬物療法を施行している患者のADL低下をテーマに、スモールグループに分かれて症例検討を行います。薬剤師が高齢がん患者にできることを一緒に考えていきましょう。

会場

Zoom

参加費

(事前入金) 会員4,000円、非会員6,000円

定員

85名

決済方法

クレジット

注意：事前申込は参加費納入をもって、完了となります。

講師

白根達彦（東京大学医学部附属病院）

ファシリテーター

宮澤真帆（東京都立多摩総合医療センター）、市村丈典（昭和大学藤が丘病院）、坂本靖宜（横浜市立大学附属病院）、小澤有輝（けいゆう病院）、田橋美佳（薬樹薬局三ツ沢）、久田健登（東京薬科大学附属薬局）、藤宮龍祥（東京薬科大学）



参加登録用QRコード



申込受付期間：2024年11月18日(月)より2025年1月6日(月)

お振り込み期限：2025年1月6日(月)

参加登録URL：<https://service.kktcs.co.jp/smms2/event/jsgp/127>

※当日受付は致しませんので必ず申込受付期間内にサイトよりお申込みいただき、期限内に参加費の入金をお願い致します。